

## 第35回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第35回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

### 結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-1)となった。
- ・今後9月から12月にかけては(+21)で、回復の動きが広がりつつある。

### 【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成30年9月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H30. 6)	見通し (H30. 7-9)	B 現況 (H30. 9)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (H30. 10-12)	現況 (H30. 9)
総 合	97	-2	8	-1	1	21	7
農業	10	-33	11	0	33	0	-22
建設業	11	18	55	36	18	64	55
製造業	10	0	36	0	0	20	18
卸売・小売業	24	-8	4	-4	4	4	-16
観光業	11	-18	-18	-9	9	55	9
飲食業	9	-33	-33	-33	0	0	-10
サービス業	22	29	5	0	-29	18	18

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所(業種別内訳は上表参照)
- 調査時期 年4回(3月、6月、9月、12月)
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容 (1)現在の景況感:良い、普通、悪いのいずれかを回答  
(2)3ヵ月後の見通し:良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。  
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。  
「DI」(Diffusion Index、デフージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。